

【簡易版】金藏院でのご法事をお考えの方へ

問い合わせが多い項目をまとめました。ご法事をお考えの方はご参照ください。

●ご法事の手順リスト

1. 日時を検討し、お寺に申し込む

以下のことをお知らせください。

- ① ご希望日時（事前に、いくつか候補日を参列される方たちでご相談ください）
- ② どなたの、何回忌のご法事か お施主様のご氏名
- ③ 法要参列者の人数

必ず事前にお寺へのお問合せをお願いいたします。

すでに入っている予定によってはお受けできない場合もあります。

2. 服装・持ち物を準備

略礼装の方がほとんどですが、お寺から服装について強制はしておりません。

持ち物：お位牌 お写真 墓参用品 念珠（数珠）など（一例です）

3. お供えやお塔婆供養をする場合は準備

お花：本堂のご本尊用・お墓へのお供え用の各1対が多いです。

供物：故人がお好きだったお菓子や果物をお供えする方が多いです

お塔婆：塔婆供養を申し込む場合は、法要の一週間ほど前までに、その本数と

志主（ししゅ：申し込まれる方）のご氏名をご連絡ください。（申込用紙が便利です）

4. そのほかに希望がある場合は問い合わせ

わからないことや心配なことがあればお気兼ねなくお寺にお問い合わせください。

●金藏院出入り業者さんのご案内

ご用命の必要がありましたらご利用ください。ご予算の都合もあると思いますので、

行き違いのないよう、お施主様からの直接連絡をお願いいたします。

※おうちのご近所や知り合いのお店を利用させていただいてもまったく問題ありません。

※下記生花店・果物店をご利用の場合は、法要までにお供物を直接お寺に届けていただき、法事当日にお代を立替精算することが可能です。法事の日時をお店にお伝えください。

石材店	野村石材店（東神奈川）	045-441-8613
生花店	フレシード（東神奈川）	045-453-3707
果物屋	柳屋（六角橋）	045-432-2517

※冊子「保存版 金藏院でのご法事をお考えの方へ」に詳しく載っています。

金藏院（こんぞういん）〒221-0044 神奈川県横浜市神奈川区東神奈川 1-4-3

☎045-441-2760 FAX 045-441-5304

保存版

金藏院でのご法事をお考えの方へ

亡き人をしのび、ご本尊さまから功德をいただくために供養するのがご法事です。日々のあわただしい暮らしの中や不安が多い中で、亡き人との今も続くつながりを実感する、安らかな心でお祈りする場を設けることができるでしょう。

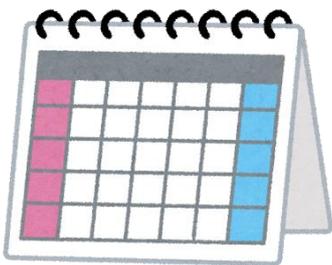
ご法事をお考えの方はご準備について以下をご参照ください。

1. お申し込み

●ご法事の日どり

本来、ご法事はご命日当日に行うことがのぞましいとされており、そうでない場合もご命日付近の日程で、早めに行うことが慣習となっています。はっきりとした由来はわかりませんが、「亡くなった方が迎える節目の前に親族が功德を積むことがその方のご供養になり、

遅くなるのは故人をないがしろにしている」という考え方に基づくようです。



しかしながら、お施主の方や集まるご親族の方のご都合、近年でいえば新型コロナウイルスの感染状況などを考慮し、ご法事をご命日のあとにおつとめすることもけっして少なくありません。「命日よりも遅く法要をやるのはタブー」などと書いてあるインター

ネット上のサイトや、そのように返答するお寺もあるかもしれませんが、ご法事は亡き人と、生きる私たちのためにおつとめするものです。当寺としては、「本来の意味をご理解いただいたうえで、ご参列される方のご都合で決めていただくのが一番良い」と考えます。

また、周忌と回忌で数え方が異なることもあり「○回忌を勘違いしていた・忘れていた」というご連絡をいただくことがあります。思い出された際に行えばよろしいかと思えます。

誠に勝手ながら、副住職が平日外出する場合がありますので、平日のご法事の希望についてはお受けできない場合もございます。また土日・祝日についても、すでにお申し込みのあるご法事、お寺の行事や外へのお手伝い・出張などの予定が入っている場合がございます。

必ず事前にお寺へのお問合せをお願いいたします。

また、お施餓鬼やお盆、お彼岸やその準備期間は基本にご法事をお受けしておりません。

●ご法事の開始時間

一日に複数の法事をお受けする場合がありますので、10時から【一時間刻み】でお受けしております。またお手伝いの方の退勤時間の都合で、人手が足りなくなってしまうため16時以降の法事は原則お受けしていません。ご要望ある場合は早めにご相談ください。

※開始 30 分前から控室をお使いいただけます。1 時間以上早いご到着の場合、お部屋の準備ができていないことがあります。また参列者が遅れる場合、あとの予定によっては定刻で始めさせていただくこともあります。

●お申し込みの際にお知らせいただきたいこと

①どなたの、何回忌のご法事か お施主様のご氏名

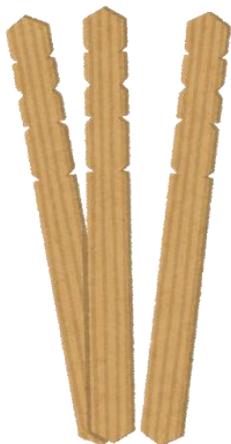
②法要参列者の人数

法要に参列される方々の控え室や配布物準備のため、必ずお知らせください。

直前にならないと人数がはっきりしない場合は、おおまかな人数のお知らせで結構です。

大きい増減（5、6名以上の変更）がある場合はわかり次第お知らせください。

③塔婆供養を申し込む場合 その本数と志主（ししゅ：申し込まれる方）のご氏名



（出来れば法要一週間前までに郵送、ファックス 045-441-5304 でご連絡ください）ご夫婦でのお申し込みなど、一本につき2～3名までお申し込みの方（志主）のお名前をお書きすることが可能です。また「子供一同」「孫一同」等でのお申し込みも可能です。

お塔婆供養料は令和2年現在、一本につき 4,000 円です。（お施餓鬼の期間の塔婆申込は、一本につき5,000円納めていただいています）

※お塔婆については **3. お供え物とお塔婆** もご参照ください。

※塔婆申込用紙が便利です

●法要の所要時間

金藏院の本堂での法事のお勤めの時間はおおむね 40 分程度です。会食などをお考えの際は時間の参考にしてください。（境内で納骨を行う法要の場合は、法要終了後墓地へ移動して納骨しますのでさらに15分前後時間がかかります）

●会場

基本的に、金藏院本堂での法要を想定しております。少人数参列で墓前での読経依頼を受けることもあります。天候によっては室内にご案内する場合がございます。

●終了後の会食（おとき）について

誠に勝手ながら、ご法事の控室（書院）でのお食事はできません。

また、次の場合は必ずお寺に事前連絡してください。

- ・持ち帰り用のお弁当がお寺に配達される場合
- ・会食するお店の送迎バスなどが来る場合

遠方など特に事情がおありの場合は、金藏院の斎場「金藏院会館」で、仕出し業者さんを手配しての会食利用についてご相談をお受けします。

※通常は通夜葬儀に利用する会場ですので、ご要望にお応えできない場合があります。
(問い合わせ先：直通電話 **045-311-7676**)



2. 服装・持ち物

●服装について



略礼装の方がほとんどですが、お寺から服装について指定はしておりません。年数がたって、ごく近い方のみで行うご法事では、より簡単な服装でお越しになる方もいらっしゃいます。その時の状況に応じて「故人を偲ぶ」服装を皆さままでご相談ください。

※お寺でお着がえをされる場合は事前にご確認ください(当日の法事の申込状況では着がえの部屋をご用意できないこともあります)。

●持ち物について（一例）

	<p>お位牌</p>	<p>持ち運べない事情がある場合もありますので、可能であれば、で結構です。お持ちいただいた場合は法要中、本堂でおまつりします。</p>
	<p>お写真</p>	<p>必ずしも大きい写真である必要はなく、スナップ写真などでも結構です。ご持参いただければお飾りします。</p>
	<p>墓参用品</p>	<p>水桶・ブラシ・雑巾等はお寺の水屋で備え付けのご用意があります。お線香・自動点火器もご用意があります。</p>
	<p>念珠 (数珠)</p>	<p>持ってくるのをお忘れになる方も、持ち帰られるのを忘れる方も多い持ち物ですのでご注意ください。</p>
	<p>その他</p>	<p>輪袈裟などをもしお持ちでしたらご持参ください。 引き物などのご用意をされる場合はご手配ください。</p>

※お荷物を事前にお送りになる場合は、**法要の前日までに**到着するようご手配ください。
また、事前にお寺への発送連絡を必ずお願いいたします。

3. お供え物とお塔婆

お供えは亡き人への皆さまのご供養のお気持ちですので、もしご用意をされる場合は、皆様の事情や故人のお好きだったものなどをふまえてお選びになるのがよろしいかと思えます。

●お花

- ・本堂のご本尊用 二束 (一对)
- ・お墓へのお供え用 二束 (一对)

をそれぞれ用意していただくことが多いです。お墓の花入れはほとんどのものが一对になっていますが、本堂ではお寺の花瓶に入れてお供えしますので、必ずしも対でなくても構いません。

金藏院の出入り業者さんへのご注文も可能です。





●お供え物

故人がお好きだったお菓子や果物をお供えされる方がほとんどです。

(それ以外ではお酒や、故人の好物としてシウマイ弁当をご法事でお供えしたこともあります。また、故人の育てた木の果実をお供えされた方もいらっしゃいました。)

果物かごをお供えしたい場合は、金藏院出入り業者さんへのご注文も可能です。

Q：お供えに不向きなものはありますか？

五辛（ごしん）：仏教で食べることを控えるべきとされている食べ物のことを指します。

ニラやねぎ、にんにく、ラッキョウ、はじかみのことで、玉ねぎも含めることがあります。いずれも香りや辛みが強いので、法事のお供物としてお供えされるのは見かけません。

肉や魚：仏教の不殺生の教えに反する、いわゆる「生臭もの」として避けられる傾向があります。

とはいえ昨今では、お寺の者もふくめ、皆さまの食卓にこれらのものが出ることは珍しくありません。しょうし、故人の好きだった食べ物の材料になっていることもあります。傷みが早いものは避けた方がよいと思いますが、心配な場合は事前にご相談ください。

●金藏院出入り業者さんのご案内

ご用命の必要がありましたらご利用ください。ご予算の都合もあると思いますので、行き違いのないよう、必ずお施主様からの直接連絡をお願いいたします。

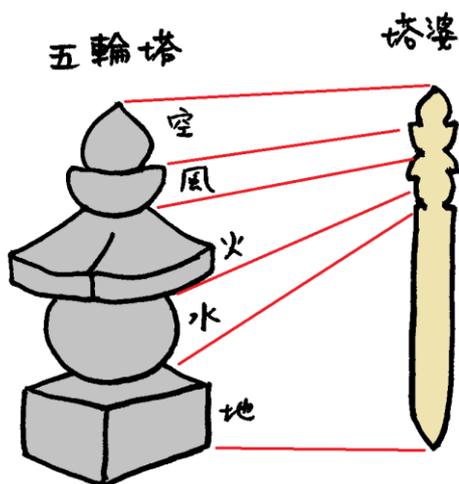
※おうちのご近所や知り合いのお店を利用していただいてもまったく問題ありません。

※下記生花店・果物店をご利用の場合は、法要までにお供物を直接お寺に届けていただき、法事当日にお代を立替精算することが可能です) 法事の日時をお店にお伝えください。

石材店	野村石材店（東神奈川）	045-441-8613
生花店	フレシード（東神奈川）	045-453-3707
果物屋	柳屋（六角橋）	045-432-2517

●お塔婆（卒塔婆）について

お塔婆は、亡き人の追善供養のために建立する仏塔で、正式には「卒塔婆（そとば・そとうば）」といます。江戸時代ころから、今日私たちが建立している木製の「板塔婆（いたとうば）」が一般的になりました。塔婆を



建てることは、亡き人のご供養・建てた方の功德（善い行いの報い）となるものであるばかりでなく、建てた方からの亡くなった方々へお出する「心からのお手紙」とも言えるでしょう。

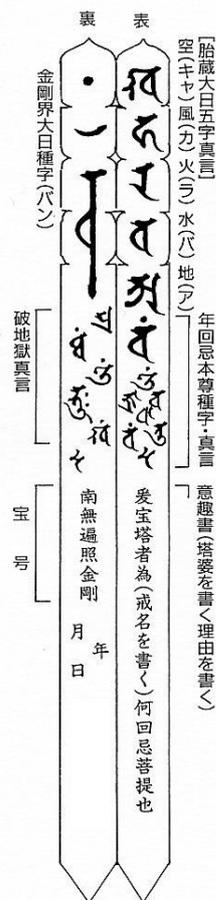
お塔婆は回忌法要や祥月命日、お盆やお彼岸に建てられることが多いですが、故人への感謝の気持ちやご自分の近況を

ご報告するものとして、いつ建てていただいても問題ありません。ご法事でご供養される場合は事前にお申し込みください（2ページ参照）

※塔婆申込用紙が便利です

●お布施について

現在の「お布施のお納め」は、お金の受け渡しとほぼ同じ意味でとらえられ、「お支払い」とおっしゃる方もいらっしゃいますが、本来は金品に限らず、教えを説いたりやすらぎを与えたりする「こころのほどこし」も含めて「他人に自分のできる限りのことをする」のが、「お布施」の本義です。金額の問題でなく、自分にできる範囲での精いっぱい「お寺への御礼」としてお納めいただければ、こちらが何か申し上げるところではないもので、いわゆる「サービスへの対価の支払い」ではありません。（しかしながらそれこそが、「わかりにくい」といわれる理由の一つでもあります）



とはいえ、「他の方がどれくらい納めているのかを知って目安にしたい」というお声はどうしてもございます。当然、地域や個々のお寺で異なるものですので、申し上げられるのはあくまで「当寺の状況」についてのみであることをご理解ください。

ご不安な方はお寺にお尋ねいただければと思います。

4. その他のお問合せ

Q：杖や車いす、介助が必要な参列者がいるのですが...



A：屋外用の杖や車いすで入っていただいて構いません。（入室時に地面に接する部分の土や泥を拭いていただくことがあります）誠に恐縮ながら本堂には階段を上って入っていただく必要がありますので、介助が必要な場合は、介助ができる方のご同行をお願いします。本堂はすべて椅子席ですが、控室にもご用意できますのでご希望であれば当日お申し付けください。

Q：複数の法事を一緒にお願いすることはできますか？

A：ご親族のお住まいの地域やご年齢などを考慮すると、何度も集まっていただくのが大変なご事情もあるかと思います。回忌にあたる年が同じの場合、亡くなられた月が離れていても、一度の集まりでご供養をされることもよいかと思います。（「併修^{へいしゅう}」といいます）四十九日は、初七日から七日ごとに仏さまにお導きをいただいた故人があの方への旅路を終える時です。喪に服していたご遺族が日常生活に戻る「忌明け」のときでもあり、納骨の節目でもあります。この法要までは、なるべくほかの方の年回忌法要と一緒にされない方がよろしいのではと個人的に考えておりますが、ご事情がある場合はご相談ください。

Q：法事のお供えやお花を、終了後持ち帰りたいのですが

A：地域によっては、法要でお供えした供物を仏様からの「お下がり」として、参列した方で分け合って食べることもあります。ご希望の場合は法要が始まる際にお声がけください。

Q：お寺以外の墓地や霊園にお墓がある場合のご法事はどのような流れですか？

A：法要の中で塔婆供養を行うということもありますが、本堂で法事をおつとめした後、外の墓地へお参りに行かれる方が多いです。納骨を行う場合を除き、特にご要望がない場合は法要終了後失礼いたしますので、墓地への同行をご希望の場合はお知らせください。（前後の法事申し込み状況によっては同行できない場合もございます）



わからないことや心配なことがあればお気兼ねなくお寺にお問い合わせください。

ご法事の際のごあいさつでもたびたびお話することですが、ご法事は「追善回向^{ついでんえこう}」ともいい、故人亡きあと、読経してお祈りをした功德（お祈りの善い影響）を亡き人や生きているものも含めたすべてのものに向けるために行うものです。お姿が見えなくても、してあげたかったことやしてあげたいことを考えながら故人とのつながりを感じていただくともに、生きている私たちの今を立ち止まって静かに見つめる機会にもなることを願います。

金藏院（こんぞういん） 〒221-0044 神奈川県横浜市神奈川区東神奈川 1-4-3

☎045-441-2760 FAX 045-441-5304